
東海地区のロードレースシリーズ「iRC TIRE Presents KINAN AACA CUP」第8戦 ハイレベルな争いがまだまだ続くシーズン終盤

東海エリアを転戦しながら自転車ロードレースの普及とレベルアップを目指すレースシリーズ「AACA カップ」（主催：合同会社 AACA、代表：加藤康則）は、発足 11 年目となる 2024 年シリーズの第 8 戦を 10 月 26 日に実施いたしました。以下に、当日の様子を報告いたします。

全 7 カテゴリーに 194 名が出走

「AACA カップ」は iRC TIRE（井上ゴム工業）さま、株式会社キナンさまによるスポンサードのもと、今年も国営木曾三川公園 長良川サービスセンター（岐阜県海津市）を主会場として、全 10 戦を開催いたします。

各選手の体力レベルやスキル、年代、目的に応じて出走カテゴリーを選択することができ、シリーズ全体を通して自身の経験を磨きながら徐々にカテゴリーを上げて、ゆくゆくは最上位カテゴリーの 1-1 クラスへの参戦を目指す、といったことも可能になります。

主会場である長良川サービスセンターで開催された今回の第 8 戦では、チームタイムトライアルを含む 7 つのレースカテゴリーに総勢 194 名が出走しました。



最上位カテゴリーの 1-1 クラスでは初川弘浩選手が勝利

メインイベントである 1-1 クラスは、1 周 5km のコースを時計回りに 16 周回する 80km にて、60 名の選手により争われ、初川弘浩選手（愛三工業レーシングチーム）が制しました。

前回開催の猛暑と打って変わって、今回は秋らしく涼しい天気の中スタート。レースは序盤から、プロ・アマ問わずさまざまな選手によるアタックが勃発しましたが、すぐに集団が逃げを吸収する展開が繰り返されました。その影響か、集団はひとつのまま 1 周 6 分半を切るようなハイペースで周回を重ねました。残り 3km ほどで、レバンテフジ静岡の選手らがまとまって集団の先頭で位置取りを開始。そのすぐ後ろに愛三工業レーシングチームやキナンレーシングなど国内プロチームが連なり、レースをさら高速化。最終コーナーをうまくクリアし集団から頭ひとつ抜け出した初川選手が、そのまま他選手を寄せ付けずトップでフィニッシュ。見事集団スプリントを制しました。

結果的に、レース全体を通して平均時速 47km を越えるハイペースで、さらに上位 5 名すべてに国内プロチームが名を連ねる形に。今シーズン数々の国際レースを経験してきた国内プロチームが、この高速レースで改めて強さを見せました。



若手選手の力走が目立った個人タイムトライアル

ロード・トゥ・ラヴニール（ROAD TO L'AVENIR : RTA）との連携により、選手の“自走力”強化や若手発掘・育成を目的として 2024 年シリーズから行われる個人タイムトライアルを、この第 8 戦でも実施いたしました。

個人タイムトライアルとは、集団で一斉スタートするロードレースとは異なり、それぞれの選手が単独でスタートし決められた距離のタイムを競う種目であり、選手個人の“自走力”が試されます。当シリーズにおいては、1 周 5km のコースを 3 周回する 15km で競われ、今回は 13 名の選手が出走しました。

一般カテゴリーでは、新藤大翔選手（埼玉ユース自転車競技部）が 1 周目からハイペースを刻み、今回の参加者の中で唯一の 20 分切りとなる 19 分 55 秒（45.2km/h）でフィニッシュ。レディースカテゴリーでは片岡十萌選手（Nerebani）が 23 分 39 秒（38.1km/h）で、U17 カテゴリーでは荒木景虎選手（埼玉ユース自転車競技部）が 22 分 43 秒（39.6km/h）でそれぞれ優勝しました。新藤選手をはじめとする若手選手の力走が目立ち、当シリーズにおける個人タイムトライアル開催のコンセプトがより光るレースとなりました。



下部カテゴリーも白熱

1-1 クラスやタイムトライアルにとどまらず、そのほか下部カテゴリーでも熱い戦いが繰り広げられました。「ポストトップカテゴリー」にあたる 1-2 クラスは 40km で争われ、矢田健太郎選手（Max Speed 97）が優勝。レースは 1-1 クラスと同様、周回賞のタイミンをきっかけに序盤からアタックが繰り返されましたが、1 人の逃げも許さず集団はひとつのまま最終盤へ。激しい位置取りがありながらも力強く踏み込んでいった矢田選手が、チームメイトを引き連れる形で見事ワンツーフィニッシュを飾りました。

17.5km で争われた 1-3 クラスでは近藤三晃選手が、12.5km で争われた 1-4 クラスでは恩田壘土選手（ORCA CYCLING TEAM）がそれぞれ優勝。また、2.5km で争われた Kids（自由）を前橋明季選手（KINAN Racing Team MIE Junior）が制しました。

イベントホストである KINAN Racing Team のメンバーが講師を務めるキッズスクールが今回も実施されました。今回新たに実施されたローテーション練習会では、幅広いレベルのライダーを対象に、レースの安全性や技術向上を目的としたレクチャーが行われました。

また会場には、iRC TIRE 井上ゴム工業株式会社さま、hardLass コーティングの FUSION さま、そして株式会社フカヤさまにブースを出展いただきました。参加者や観戦に訪れた人々に各社製品の紹介や取り組みを PR。タイヤやローラー台の試乗体験も実施され、会場は賑わいをみせました。



次の第9戦は11月17日(日)

本シリーズ第9戦は、11月17日(日)に今回と同じく国営木曽三川公園 長良川サービスタウンにて実施します。

レースカテゴリーは 1-1、1-2、1-3、1-4、U15、U17、Kids、個人タイムトライアル。参加費は、通常カテゴリー(1-1、1-2、1-3、1-4、U15、U17)は共通で3000円(当日エントリーは4000円)。個人タイムトライアルは4000円(当カテゴリーのみ当日エントリー不可)となります。なお、Kidsに関しては無料にて参加が可能です。

エントリー開始は10月29日(火)で、締切は11月9日(土)となります。申込方法やその他詳細はシリーズ公式ウェブサイトをご覧ください。

iRC TIRE Presents KINAN AACACUP の iRC TIRE ブースでは、新型クリンチャータイヤ「アスピーテプロ」をお試しいただけます。貸し出しは、タイヤ付きホイールで。そして貸し出しは試走のみならず、当日のレースでも使用可能（これは iRC TIRE Presents KINAN AACACUP のみ！）。よりリアルな状況下でお試しいただけます。このレンタルサービスは先着 5 名様限定。詳しくは、各戦当日に iRC TIRE ブースまで。この機会に新型アスピーテプロを体感するチャンス！

さらには、iRC TIRE ユーザーさま限定で、ご参加当日のレーススタート 15 分前までに iRC TIRE を装着したレースバイクとともに iRC ブースにお越しいただき、出走日数のカウントをしていただくと、7 回目（最短で第 7 戦＝ダブルエントリーは除く）の参加費が無料に！

2024 年シリーズはぜひ iRC TIRE をレース出走バイクに装着して、iRC TIRE ブースへお越しください！



第 8 戦リザルト

・ 1-1

1. 初川 浩弘（愛三工業レーシングチーム）
2. AGROTIS Alexandros（マトリックスパワータグ）
3. 新城 雄大（キナンレーシング）
4. 白川 幸希（キナンレーシング）
5. Diertens Erik（レバンテフジ静岡）

・ 1-2

1. 矢田 健太郎（Max Speed 97）
2. 戸谷 武頌（MAX SPEED 97）
3. 木村 直司（カンピオーネ）
4. 吉岡 衛
5. 四方 麻旺（ORCA CYCLING TEAM）

・ 1-3

1. 近藤 三晃
2. 木戸 秀行
3. 大西 裕幸 (MAIYO)
4. 谷本 望
5. 江川 裕和 (カンピオーネ)

・ 1-4

1. 恩田 墨土 (ORCA CYCLING TEAM)
2. 脇田 大輝
3. 大山 真
4. 與那城 歩夢 (やまのレーシングチーム)
5. 若園 昇平

・ Kids (自由)

1. 前橋 明季 (KINAN Racing Team MIE Junior)
2. 篠原 海
3. 上田 雄斗 (FU-JIN RACING)
4. 森 匠平
5. 西村 銀二

個人タイムトライアル

・ U17

1. 荒木 景虎 (埼玉ユース自転車競技部) 22 分 43 秒
2. 大岩 勇仁 23 分 27 秒
3. 向井 佑太 (埼玉ユース自転車競技部) 23 分 32 秒

・ レディース

1. 片岡 十萌 (Nerebani) 23 分 39 秒

・ 一般

1. 新藤 大翔 (埼玉ユース自転車競技部) 19 分 55 秒
2. Sandu Ionut (LT United Cycling Team) 20 分 09 秒
3. 岸本 伊織 (mkw) 20 分 55 秒
4. 篠田 淳史 (ぴっとレーシングチーム) 20 分 57 秒
5. 税所 蓮 (バルバレーシングクラブハクサン) 21 分 50 秒

iRC TIRE Presents KINAN AACA CUP 概要

主催：合同会社 AACA

代表：加藤康則

WEB： <https://www.coupedeaaca.com/>



本件に関するお問い合わせ：

合同会社 AACA coupedeaaca@gmail.com

